

”医療的ケアが必要な人たちを地域で支える”

医療的ケアネットシンポジウム&2018年度総会

2018年6月17日(日)午後、京都駅近くキャンパスプラザ京都を会場に開催された<医療的ケアネットシンポジウム&2018年度総会>には、京都はじめ近畿圏外から、香川、岐阜、愛知、三重、福井、富山、山梨、静岡、東京、沖縄など各地から。障害当事者とご家族、障害福祉関係者(指導員、相談員)、看護師、理学療法士(医療、福祉事業所)など医療関係者、学校関係者、大学関係者、行政(教育、福祉、医療)関係者など多職種にわたる参加層に、スタッフ(理事など)も加えると100名を超える参加になりました。

医療的ケアを必要とする方々の学校卒業後、ご家族も含めた“豊かな当たり前の生活を保障するため”に、医療法人信愛会・社会福祉法人明世会のとりのくみ、一宮市障害者自立支援協議会(医療的ケアネットワーク)や京都府中丹圏域障害者自立支援協議会医療的ケア部会、あやべ作業所訪問生活介護事業(綾部市)などのわかりやすい報告とそれらを受けたフロアー討議(当事者やご家族の願いや想いを大切にしたい障害者自立支援協議会の責務と役割と活用、第3号研修の拡大充実(課題整理)、移動支援事業など自治体独自制度と組み合わせた障害者総合支援法制度充実など)、参加者へのヒントや元気のでるシンポになり盛況の中おわることができました。

ご参加いただいた皆さん、ご協力頂いたスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

シンポジウム終了後の総会では、2017年度活動報告・活動会計報告、2018年度活動計画・活動予算、一部定款変更、理事・監事選任などの事務局報告・提案すべて確認了承されました。

またシンポジウムや総会終了後の懇親会にも20名近くの方ご参加いただき楽しく交流できました。

参加申込み締切日前に会場キャパ関係で予定より早く締め切り申込み受け付けられなかった方もおられたと思いますどうかお許しください。会場撤収にもご協力いただき有難うございました。

皆さまご承知のように翌日の18日午前8時前大阪府北部震源とする震度6弱地震影響で、東京、山梨、愛知、岐阜、沖縄から参加された方など17日終了後京都市内に宿泊され翌日見学、観光などを計画されていたようでしたが新幹線はじめ交通機関が遅くまでマヒしていましたが、それぞれ無事に帰宅されたようで安堵しております。

これからも今回のシンポで語られ寄せられた課題など、医ケアネットではライフステージに基づいて皆さんと一緒に考え行動していければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。会場から寄せられたアンケートも30枚あります。お時間の関係で記入できなかった皆さん、どうぞ感想など事務局までお寄せいただければ幸いです。



当日の会場模様……

